



友愛の森(二中だより)

2月

学校教育目標 二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和7年2月3日発行



「レジリエンス」 ～心の復元力～

2月に入り、これからもまだまだ寒い日が続きますが、時折温かい日差しを浴びながら、木々の芽やつぼみも膨らみはじめています。今年度も残りわずかとなり、学校では早くも3学期の折り返し点を迎えました。

4月になると、生徒は新しい学校へと進学、また新しい学年へと進級します。特に3年生にとって、この春は大きな飛躍の時を迎えます。残りわずかとなった二中での生活、気心知れた友達と過ごす中で、今しかできない経験を通して、心も体もさらに大きく成長してほしいと願っています。

2月の朝礼では、次のような話をしました。

「レジリエンス」という言葉を知っていますか。「レジリエンス」とは、**逆境や困難、未知のものに直面した時の粘り強さや適応力、心がへこんでもはね返せるような「心の復元力」**のことです。

別の言い方をすれば、「**打たれ強さ**」といったところでしょうか。ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手やバレーボールの石川祐希選手のような一流アスリートは、様々な困難や挫折を乗り越え、結果を出し続けていることから、強靱なレジリエンスの持ち主であると想像できます。

しかし、このレジリエンスは、ごく一部のアスリートだけに求められる資質ではなく、**未来を生き抜く私たち全員に必要とされる資質**です。研究者によると、このレジリエンスは、**生まれつきの資質ではなく、筋肉のように鍛えることができる**と言われています。

ちょっとやそつとのことではへこたれない「打たれ強さ」を鍛える方法を3つ紹介します。

①自分を肯定する

「私は〇〇です。」 自分の長所や自信をもてることを言葉にしてみる。長所が見つからない場合は、友達や家族に聞いてみましょう。自分では気づかない面が見つかると思います。

②できることを考える

「私は〇〇ができます。」 自分ができるところを一つずつ書き出していく。友達や家族と一緒に考えると、次々とできることが見つかります。

③好きなことを考える

「私は〇〇が好きです。」 自分が好きなことを書き出す。友達や家族と一緒に、交互に好きなことを言い合うと、更に効果的です。

ちょっとやそつとのことではへこたれない「打たれ強さ」を鍛えていきましょう。

これからの季節、インフルエンザや新型コロナウイルスの流行も心配されますが、「生徒たちの学びを止めない」ように、感染予防対策と教育活動の両立を図っていきたいと思います。御家庭におかれましても、これまで通りお子様の健康管理について、御協力の程よろしくお願いいたします。

教育の日【1月18日(土)実施】

1年生 職業講話「働くことを考える」・学年討論会



2年生 「中学校卒業後の自分を考える」 高校説明・卒業生による高校説明



3年生 「よりよい社会を創造する人を目指して」 面接練習・講話



5・6組 「マイカレンダー発表会」・「社会に出るために必要なこと」講話



1月23日 入学説明会にて、生徒会本部役員による学校案内を実施しました。

早いもので、令和6年度もあと2か月ほどとなり、学校も令和7年度に向けて準備を始めています。1月23日、リモートにて「入学説明会」を開催しました。その中で、生徒会本部役員による学校行事の説明を行いました。本部役員のお話を聞きながら、私たちも、本年度を振り返る良い時間となりました。

